

アントニオ・グテレス 閣下

この度、貴台が国連事務総長に任命されましたことを、162 か国・地域の 7,100 を超える都市が加盟する平和首長会議の会長として、また、核兵器のない平和な世界の実現を願う被爆地広島市長として、心からお祝い申し上げます。

貴台には、近い将来に被爆地を訪れて、被爆者の思いを直接聴き、被爆の実相に触れていただきたく存じます。その上で、貴台には、核兵器禁止条約の早期実現に向け具体的交渉開始のリーダーシップをとっていただくことを心から期待しています。

国連経済社会理事会の NGO に登録されている平和首長会議は、1982 年の設立以来、世界の都市と連帯し、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきました。加盟都市の数は増加の一途をたどり、今や世界の総人口の 7 分の 1 に当たる 10 億人の市民を擁する組織に拡大しています。

平和首長会議は、核兵器の法的禁止こそが、全人類のための安全保障を強化することに繋がると信じています。全ての国々が支持する核兵器廃絶というゴールに向けた議論を開始し、具体的な措置に移行すべき時が来ています。

国連総会第一委員会に当たり、我々は、全ての国連加盟国に対して核兵器禁止条約の締結とそのための交渉に向けた建設的な議論を呼びかけています。先般、平和首長会議が発出したメッセージを同封しておりますので、ぜひ御一読ください。

平和首長会議も、引き続き国連と連携しながら、幅広い市民社会のパートナーと共に、国際社会の相互理解と協力の促進のために、市民社会の幅広い潮流を強化していく所存です。我々の活動への御理解、御協力をお願いいたします。

終わりに、貴台の御健勝・御活躍を衷心よりお祈り申し上げます。

2016年10月14日

平和首長会議会長 広島市長 松井 一實